

2017年度第二回JICAインターンシップ・プログラムポスター一覧
(開発コンサルタント型)

登録番号	受入コンサルティング企業	国	募集人数	テーマ
1702開コ01	国際航業株式会社	エクアドル	1	エクアドル国 地震と津波に強い街づくりプロジェクト
1702開コ02	日本工営株式会社	ミャンマー	2	新タケタ橋建設計画
1702開コ03	株式会社アルメックVPI	フィリピン(セブ)	1	フィリピン国メロセブ都市交通システム開発マスタープランプロジェクト
1702開コ04	株式会社アルメックVPI	フィリピン(マニラ)	2	フィリピン国メロセブ都市交通システム開発マスタープランプロジェクト
1702開コ05	株式会社コーエイリサーチ &コンサルティング	ルワンダ	2	トゥンバ高等技術専門学校強化支援プロジェクト フェーズ2
1702開コ06	八千代エンジニアリング株式会社	ベトナム	1	ベトナム国ハイフォン市都市環境整備事業
1702開コ07	八千代エンジニアリング株式会社	インドネシア	1	インドネシア国ジャカルタ下水整備事業(Zone-1)エンジニアリング・サービス(E/S)
1702開コ08	株式会社地球システム科学	スーダン	1	州水公社運営維持管理能力強化プロジェクト

**2017年度第二回JICAインターンシップ・プログラム
開発コンサルタント型**

受入企業先		登録番号	1702開コ01
■企業名：	国際航業株式会社	募集人数 (人)	1
■実施国：	エクアドル		
■プロジェクトサイト：	グアヤキル、サリナス、ポルトビエホ、アタカメス		
■プロジェクト名		■スキーム名	
地震と津波に強い街づくりプロジェクト		技術協力プロジェクト	
■プロジェクト概要			
<p>【プロジェクト目標】津波警報に基づく住民避難・防災アジェンダ（日本の防災計画に相当する）の更新・市の建築制度運用体制整備の支援を通じて、地震・津波の被害を軽減し、エクアドル危機管理庁（SGR）および都市開発・住宅省（MIDUVI）の市に対する技術的支援体制構築に寄与する。</p> <p>【期待される成果】成果1：津波警報技術プロトコルにより発出された津波警報に基づき、市が住民を迅速に避難させる。成果2：減災計画と事前準備に焦点をあてた市の防災アジェンダが更新される。成果3：本プロジェクトで整備する「建築制度の運用ハンドブック」に基づき、市の建築制度の運用体制が整備される。</p> <p>【エクアドル国側関係者】エクアドル危機管理庁（SGR）、都市開発・住宅省（MIDUVI）及び沿岸部パイロット3市（サリナス、ポルトビエホ、アタカメス）</p> <p>【業務の期間】2017年7月～2021年3月（約45ヶ月）</p>			
■具体的なインターンシップ活動内容			
<p>インターンシップ期間中に、「技術移転セミナー」および「津波避難訓練」が実施される予定です。インターンは、これらのイベントに参加すると共に、コンサルタントの指導のもとでイベントの準備、運営、議事記録を担当します。また、「津波避難訓練」にあつては、訓練終了後にアンケート調査を実施するのでインターンはこれらの準備、解答用紙の回収、集計にも従事していただきます。</p> <p><解説></p> <p>技術移転セミナー：全カウンターパートおよび関係者を対象に、各活動に係る基本技術の移転を行うとともに、地震・津波防災関連の情報共有を行う。プロジェクト期間中に3回開催。</p> <p>津波避難訓練：パイロット3市（サリナス、ポルトビエホ、アタカメス）において、津波避難訓練を実施する。避難訓練の実施に際しては訓練計画を作成すると共に、訓練実施以後にアンケート調査を行って訓練の成果確認と次回の避難訓練のための改善提言を行う。プロジェクト期間中に6回開催。</p>			
■プロジェクトの参考情報			
<p>JICAのHP https://www.jica.go.jp/press/2017/20170419_01.html</p> <p>JICAのHP（既存プロジェクトの報告書） http://open_jicareport.jica.go.jp/pdf/12288262.pdf</p> <p>在エクアドル大使館HP http://www.ec.emb-japan.go.jp/itpr_ja/cooperacion_jp.html</p>			
■参加(同行)可能な行事・視察等			
技術移転セミナー（1回）、津波避難訓練（3市で各1回）、建設制度ワークショップ（1回）、JCC（合同調整員会）（1回）			
■受入時期・期間			
2018年1月 から 3月 までの間の 1ヶ月間程度			
<input checked="" type="radio"/> 調整可 <input type="radio"/> 調整不可 理由：			
■希望する人材		■希望する分野	
大学生・大学院生ともに可		工学、理学、その他防災関連の学部・学科	
■応募資格以外に受入れに必要な要件			
防災関連の勉強をしている方が良いです			
■提供可能な執務環境等（可能な項目にチェックを入れてください。）			
<input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース <input checked="" type="checkbox"/> 電話等の利用 <input checked="" type="checkbox"/> PC貸出し <input type="checkbox"/> PC自身で準備 <input checked="" type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等 <input checked="" type="checkbox"/> 携帯電話貸出 <input type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担 <input checked="" type="checkbox"/> その他(提供可能な事項) ホテル～事務所間の車移動			
■備考・留意点			
エクアドルは南米では比較的安全性の高い国ですが、日本の様に安全ではありません。JICAが規定する安全対策に加えて、コンサルタントが独自に設定している活動地域ごとのローカルな安全対策（夜間外出禁止、一人での外出禁止等）に従い、安全第一で作業する事。			

**2017年度第二回JICAインターンシップ・プログラム
開発コンサルタント型**

受入企業先		登録番号	1702開コ02
■企業名：	日本工営株式会社	募集人数 (人)	1~2
■実施国：	ミャンマー国		
■プロジェクトサイト：	ヤンゴン市		
■プロジェクト名		■スキーム名	
新タケタ橋建設計画		無償資金協力	
■プロジェクト概要			
<p>本プロジェクトは、ヤンゴン市中心部と、同市東部や我が国が開発に協力しているティラワ地区を含む南東部を結ぶ幹線道路ネットワーク上に位置する既設タケタ橋の架け替え事業です。この既設橋の現況交通量は、2車線道路の交通容量を大きく超過しており渋滞が慢性化しています。また、供用開始から50年以上経過しているため、老朽化による車両の重量制限が設けられていることから、抜本的な対策の必要性が高い状況にありました。このため、4車線の新橋に架け替え、物流の効率化と安全性の確保を図るとともに、地域住民の生活改善に資することを目的としています。</p> <p>新橋は橋長253.0m、必要な航路高を確保するため桁高を抑えたPCエクストラードード橋を採用しており、河川内基礎には締切工併用の鋼管矢板井筒基礎を選定していることが技術的特徴です。また、本プロジェクトにはミャンマー国への技術移転を目的として同国建設省若手職員が研修生として参画しています。</p> <p>工事は2015年4月着工、基礎工並びに橋脚・橋台の下部工を終えて、現在、主塔と主桁の上部工工事を張出し架設によって進めており、2018年夏に竣工を迎える予定です。</p>			
■具体的なインターンシップ活動内容			
<p>国際開発コンサルティング業務の一環として、我が国の無償資金協力による橋梁プロジェクトの施工監理において、以下に示す業務を支援する活動を予定しています。ただし、具体的な活動内容は、参加者の専門性や希望を考慮した上で担当者との打合せで決定します。</p> <p>(1) 施工監理：月例・週間会議参加、月例報告書等作成、工事検査立会い、品質・安全・工程管理および管理資料作成 (2) 技術移転：技術移転プログラムにおける研修生（ミャンマー国建設省若手職員）の管理並びに指導 (3) 事務管理：報告書やレター類の文書管理、コンサルタント事務所の運営管理、渡航・宿泊・イベント管理 (4) その他：ミャンマーの歴史や文化、経済、産業、生活習慣、行動様式などの知見を得る</p>			
■プロジェクトの参考情報			
JICA ODA見える化サイト： https://www.jica.go.jp/oda/project/1460200/index.html			
■参加(同行)可能な行事・視察等			
月例会議、週間会議、視察等の全てのイベントに参加可能			
■受入時期・期間			
2018年1月 から 3月 までの 1ヶ月間程度			
<input checked="" type="radio"/> 調整可 <input type="radio"/> 調整不可 理由：			
■希望する人材（大学生・大学院生・社会人）		■希望する分野	
大学生・大学院生・社会人可		土木、建設、交通、橋梁、都市、社会基盤、地球環境	
■応募資格以外に受入れに必要な要件			
特になし			
■提供可能な執務環境等（可能な項目にチェックを入れてください。）			
<input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース	<input checked="" type="checkbox"/> 電話等の利用	<input type="checkbox"/> PC貸出し	<input checked="" type="checkbox"/> PC自身で準備
<input checked="" type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等	<input checked="" type="checkbox"/> 携帯電話貸出	<input checked="" type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担	
<input type="checkbox"/> その他(提供可能な事項)			
■備考・留意点			

2017年度第二回JICAインターンシップ・プログラム
開発コンサルタント型

受入企業先		登録番号	1702開コ03
■企業名：	株式会社アルメックVPI	募集人数 (人)	1
■実施国：	フィリピン		
■プロジェクトサイト：	セブ		
■プロジェクト名		■スキーム名	
メトロセブ都市交通システム開発マスタープランプロジェクト（セブ中心）		開発計画調査型技術協力	
■プロジェクト概要			
<ul style="list-style-type: none"> ・メトロセブの都市交通マスタープラン作成 ・関係機関の能力向上 ・パイロットプロジェクトの実施 			
■具体的なインターンシップ活動内容			
業務調整の補佐として活動。具体的には必要な情報収集・整理、会議資料の作成・会議への同行・議事録作成、報告書作成支援などです。			
■プロジェクトの参考情報			
■参加(同行)可能な行事・視察等			
各種会議、現場視察			
■受入時期・期間			
2018年1月 から3月 までの1ヶ月程度(内セブ3週間、マニラ1週間程度)			
<input checked="" type="radio"/> 調整可 <input type="radio"/> 調整不可 理由：			
■希望する人材（大学生・大学院生・社会人）		■希望する分野	
大学生・大学院生ともに可		都市計画・交通計画	
■応募資格以外に受入に必要な要件			
オフィスソフトウェアの基礎的な作業、日常会話に支障のない程度の語学力(英語)			
■提供可能な執務環境等（可能な項目にチェックを入れてください。）			
<input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース	<input type="checkbox"/> 電話等の利用	<input type="checkbox"/> PC貸出し	<input checked="" type="checkbox"/> PC自身で準備
<input checked="" type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等	<input type="checkbox"/> 携帯電話貸出	<input checked="" type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担	
<input type="checkbox"/> その他(提供可能な事項)			
■備考・留意点			

2017年度第二回JICAインターンシップ・プログラム
開発コンサルタント型

受入企業先		登録番号	1702開コ04
■企業名：	株式会社アルメックVPI	募集人数 (人)	2
■実施国：	フィリピン		
■プロジェクトサイト：	マニラ、セブ		
■プロジェクト名		■スキーム名	
メトロセブ都市交通システム開発マスタープランプロジェクト（マニラ中心）		開発計画調査型技術協力	
■プロジェクト概要			
<ul style="list-style-type: none"> ・メトロセブの都市交通マスタープラン作成 ・関係機関の能力向上 ・パイロットプロジェクトの実施 			
■具体的なインターンシップ活動内容			
業務調整の補佐として活動。具体的には必要な情報収集・整理、会議資料の作成・会議への同行・議事録作成、報告書作成支援などです。			
■プロジェクトの参考情報			
■参加(同行)可能な行事・視察等			
各種会議、現場視察			
■受入時期・期間			
2018年1月 から3月 までの1ヶ月程度（内1週間セブ、残りはマニラ）			
<input checked="" type="radio"/> 調整可 <input type="radio"/> 調整不可 理由：			
■希望する人材（大学生・大学院生・社会人）		■希望する分野	
大学生・大学院生ともに可		都市計画・交通計画	
■応募資格以外に受入れに必要な要件			
オフィスソフトウェアの基礎的な作業、日常会話に支障のない程度の語学力(英語)			
■提供可能な執務環境等（可能な項目にチェックを入れてください。）			
<input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース	<input type="checkbox"/> 電話等の利用	<input type="checkbox"/> PC貸出し	<input checked="" type="checkbox"/> PC自身で準備
<input checked="" type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等	<input type="checkbox"/> 携帯電話貸出	<input checked="" type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担	
<input type="checkbox"/> その他(提供可能な事項)			
■備考・留意点			

**2017年度第二回JICAインターンシップ・プログラム
開発コンサルタント型**

受入企業先		登録番号	1702開コ05
■企業名：	株式会社コーエイリサーチ&コンサルティング	募集人数 (人)	1～2
■実施国：	ルワンダ		
■プロジェクトサイト：	トゥンバ高等技術専門学校		
■プロジェクト名		■スキーム名	
トゥンバ高等技術専門学校強化支援プロジェクト フェーズ2		技術協力プロジェクト	
■プロジェクト概要			
<p>ルワンダは国家開発計画(Vision 2020)にて知識を基にした経済(Knowledge-based Economy)の実現を掲げ、人的資源開発、とりわけ科学技術分野の人材育成に取り組んでいる。1994年の内戦・ジェノサイドの影響により、中堅技術者や実践力のあるエンジニアの不足が深刻な中、2007年にトゥンバ高等技術専門学校(Tumba College of Technology:TCT)が設立された。JICAはTCTが産業・社会のニーズに合う実践的なA1レベルの高等技術教育機関になることを目標に「トゥンバ高等技術専門学校強化支援」プロジェクト(2007-2012年)を実施し、2013年に同国政府からの要請をもとに、第2フェーズとして本プロジェクトを開始し活動を行っている。本プロジェクトでは、教員の能力強化、学校運営能力の強化に焦点を絞り、TCT強化のための仕組みづくりを行いつつ、TCTを通じ他の技術教育・職業訓練機関のモデルとなるアプローチをルワンダ政府に提供し、ルワンダ国TVETセクターの質の改善を目指している。</p>			
■具体的なインターンシップ活動内容			
<ul style="list-style-type: none"> ・ロボットコンテスト 企画・運営補助 ・インキュベーション&キャリアサポートセンター運営支援 ・プロジェクト総務全般補助 ・学生・教師との交流活動 ・プロジェクト終了に伴う資料整理等 ・その他、総括から依頼がある業務全般 			
■プロジェクトの参考情報			
https://www.jica.go.jp/project/rwanda/004/index.html https://www.facebook.com/jicatct2/			
■参加(同行)可能な行事・視察等			
ロボットコンテスト(予定)、起業家育成新規モジュールに基づくポリテクニクにおける授業視察(全国)			
■受入時期・期間			
2018年2月から3月までの 1.5～2ヶ月間程度			
<input checked="" type="radio"/> 調整可 <input type="radio"/> 調整不可 理由：			
■希望する人材(大学生・大学院生・社会人)		■希望する分野	
大学生・大学院生・社会人可		工学系(電子工学、通信、代替エネルギー等)、起業家育成、教育分野に興味のある方をなお歓迎します。	
■応募資格以外に受入れに必要な要件			
英語での日常会話、簡単な業務にかかる会話ができる程度の語学レベルを要します。			
■提供可能な執務環境等(可能な項目にチェックを入れてください。)			
<input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース <input type="checkbox"/> 電話等の利用 <input type="checkbox"/> PC貸出し <input checked="" type="checkbox"/> PC自身で準備 <input checked="" type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等 <input checked="" type="checkbox"/> 携帯電話貸出 <input type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担 <input type="checkbox"/> その他(提供可能な事項)			
■備考・留意点			
首都キガリ(週末)ートゥンバ(プロジェクトサイト、平日)等、車両での移動(片道:約1時間半)が多いプロジェクトです。特にプロジェクトサイトは標高が高く(約2,500m)、人によっては体調不良を起こす恐れがありますので、留意願います。平日は団員との共同生活(主に自炊)を行いません。			

**2016年度第二回JICAインターンシップ・プログラム
開発コンサルタント型**

受入企業先		登録番号	1702開コ06
■企業名：	八千代エンジニアリング株式会社	募集人数 (人)	1
■実施国：	ベトナム国		
■プロジェクトサイト：	ハイフォン		
■プロジェクト名		■スキーム名	
ベトナム国ハイフォン市都市環境整備事業（Ⅱ）		有償資金協力	
■プロジェクト概要			
<p>ベトナムは急速な都市化、工業化に伴い、都市部や工業集積地では十分な環境保全対策がなされていない状況にあります。そうした状況に対する取り組みの一環として、JICAはハイフォン市都市環境整備事業（Ⅱ）を始動しました。これは、ベトナム第3の都市であり、北部地域最大の港湾都市ハイフォン市において、下水道・排水施設の整備を行うと共に、廃棄物処理システムの整備を行うことで、下水道普及、汚水処理率の向上、洪水被害の軽減、適切な廃棄物処理体制の構築を図り、もって生活衛生環境の改善を図るものです。本プロジェクトは、上記事業のうち、廃棄物処理システムの整備、およびその周辺道路の設計を対象としています。</p>			
■具体的なインターンシップ活動内容			
<p>本プロジェクトでは、①廃棄物処分場および他関連施設の建設、②廃棄物運搬・収集等機材の調達、③周辺道路の整備、を実施しており、工期は残すところ1年弱となっています。 インターンシップでは、主として周辺道路整備に係る施工監理業務を体験してもらいます。 本周辺道路整備は、現地工法を用いた現地コントラクターによる施工であることから、日本の工事現場では体験することのできない途上国の建設工事の現状、ならびにその施工監理業務を学ぶことができます。</p>			
■プロジェクトの参考情報			
JICAプレスリリース： https://www.jica.go.jp/press/2008/20090331_02.html			
い			
ハイフォン市最終処分場建設現場、周辺道路整備現場			
■受入時期・期間			
2018年 1月 から 3月 までの 1ヶ月間程度			
<input checked="" type="radio"/> 調整可 <input type="radio"/> 調整不可 理由：			
■希望する学位（大学生または大学院生）		■希望する分野	
大学生・大学院生ともに可		土木	
■応募資格以外に受入れに必要な要件			
なし			
■提供可能な執務環境等（可能な項目にチェックを入れてください。）			
<input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース	<input type="checkbox"/> 電話等の利用	<input type="checkbox"/> PC貸出し	<input checked="" type="checkbox"/> PC自身で準備
<input type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等	<input type="checkbox"/> 携帯電話貸出	<input type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担	
<input type="checkbox"/> その他(提供可能な事項)			
■備考・留意点			
持病がないこと、安全管理に従うこと			

**2016年度第二回JICAインターンシップ・プログラム
開発コンサルタント型**

受入企業先		登録番号	1702開コ07
■企業名：	八千代エンジニアリング株式会社	募集人数 (人)	1
■実施国：	インドネシア国		
■プロジェクトサイト：	ジャカルタ		
■プロジェクト名		■スキーム名	
インドネシア国ジャカルタ下水整備事業 (Zone-1) エンジニアリング・サービス (E/S)		有償資金協力	
■プロジェクト概要			
<p>ジャカルタ特別州は、急速な経済成長に伴い、人口増加や商業集積が顕著であるものの、交通や上下水道等の都市基盤インフラの整備は不足しています。ジャカルタ特別州における下水道整備事業は、下水管渠と下水処理施設の建設、運営、維持管理等を行うことにより、同州の適正な下水処理の促進を図り、住民の生活・衛生環境の改善、環境保全に寄与することを目的としています。本プロジェクトは、州北部に位置する第1処理区に整備される下水管渠・下水処理場の詳細設計、入札補助等に係るエンジニアリング・サービスを対象とし、下水道整備事業の円滑な実施促進を図るものです。</p>			
■具体的なインターンシップ活動内容			
<p>本プロジェクトは2017年9月に業務開始を予定しており、ジャカルタ特別州における初めての本格的な下水処理場ならびに管路網の整備のための詳細設計、および入札支援を行うものです。 プロジェクトの参加人数は、日本人20名、インドネシア人50名の大所帯となります。 インターンシップでは、実習生の専門・関心に応じて、①施設設計、②広報活動・環境社会配慮、③顧客管理台帳システム設計、のいずれかに携わってもらうことを予定しています。</p>			
■プロジェクトの参考情報			
<p>JICAプレスリリース：https://www.jica.go.jp/press/2013/20140224_01.html JICA事業事前評価表：https://www2.jica.go.jp/ja/evaluation/pdf/2013_IP-565_1_s.pdf</p>			
■参加(同行)可能な行事・視察等			
処分場用地建設の視察（加えて弊社ジャカルタ事務所が関与するセミナー等があれば参加可能）			
■受入時期・期間			
2018年 1月 から 3月 までの 1ヶ月間程度			
<input checked="" type="radio"/> 調整可 <input type="radio"/> 調整不可 理由：			
■希望する学位（大学生または大学院生）		■希望する分野	
大学生・大学院生ともに可		土木	
■応募資格以外に受入れに必要な要件			
なし			
■提供可能な執務環境等（可能な項目にチェックを入れてください。）			
<input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース	<input type="checkbox"/> 電話等の利用	<input type="checkbox"/> PC貸出し	<input checked="" type="checkbox"/> PC自身で準備
<input type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等	<input type="checkbox"/> 携帯電話貸出	<input type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担	
<input type="checkbox"/> その他(提供可能な事項)			
■備考・留意点			
持病がないこと、安全管理に従うこと			

**2017年度第二回JICAインターンシップ・プログラム
開発コンサルタント型**

受入企業先		登録番号	1702開コ08
■企業名：	株式会社地球システム科学	募集人数 (人)	1
■実施国：	スーダン		
■プロジェクトサイト：	カッサラ州、白ナイル州		
■プロジェクト名		■スキーム名	
州水公社運営維持管理能力強化プロジェクト		技術協力プロジェクト	
■プロジェクト概要			
<p>本プロジェクトは、2008年6月より開始された「水供給人材育成計画プロジェクト」及び2011年11月から開始された「水供給人材育成プロジェクト・フェーズ2」の延長線上にあるプロジェクトであり、2016年3月より2020年1月までの4年間実施されます。プロジェクトの目標は「パイロット州水公社における運営維持管理能力が強化される」であり、5つの成果（①パイロット州水公社における給水施設のモニタリング能力が向上する。②パイロット州水公社において都市給水施設の運転・維持管理手法が改善される。③パイロット州水公社の経営管理能力が改善する。④パイロット州水公社と顧客とのコミュニケーションが促進される。⑤州水公社間の知見・データ共有が促進される）が求められています。このプロジェクトには8名の日本人専門家が派遣され、ハルツームとパイロット2州（カッサラ州と白ナイル州）を対象に活動します。なお、本プロジェクトの第1期（2016年3月～2017年6月）には2名のインターンを受け入れた実績があります。</p>			
■具体的なインターンシップ活動内容			
<p>募集するインターンは給水施設モニタリング補助とし、活動内容は下記の通りです。 ①地下水モニタリング用機材の設置補助（カッサラ州のみ） ②管網施設のモニタリングの補助 ③地方給水施設のモニタリングの補助 ④モニタリング関連データの収集分析補助 ⑤その他関連活動</p>			
■プロジェクトの参考情報			
<p>①「スーダンの水(2013)」、上村三郎、国際開発ジャーナル社 ②外務省ODAメールマガジン（第342号、2017年1月）</p>			
■参加(同行)可能な行事・視察等			
関連会議、対話集会、調査、セミナー			
■受入時期・期間			
2018年 2月末 から 4月上旬 までの1.5ヶ月間程度			
<input checked="" type="radio"/> 調整可 <input type="radio"/> 調整不可 理由：日本人専門家は2018年1月末から5月末まで滞在するため			
■希望する学位（大学生または大学院生）		■希望する分野	
大学生・大学院生ともに可		理工学系	
■応募資格以外に受入れに必要な要件			
パソコンの基礎(Word, Excel)及びプレゼンテーション能力			
■提供可能な執務環境等（可能な項目にチェックを入れてください。）			
<input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース	<input checked="" type="checkbox"/> 電話等の利用	<input type="checkbox"/> PC貸出し	<input checked="" type="checkbox"/> PC自身で準備
<input checked="" type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等	<input checked="" type="checkbox"/> 携帯電話貸出	<input checked="" type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担	
<input type="checkbox"/> その他(提供可能な事項)			
■備考・留意点			
<p>①スーダンはイスラム教徒が主体であり、事前にイスラム教徒の習慣や行事を理解しておく。 ②本プロジェクトは多くの関係者と接することが多いために、日本語、外国語を問わずスムーズな意思の疎通ができる人材を望む。 ③何よりも親日国家のスーダンの発展に少しでも貢献したいとする高い意欲を有する人材を望む。 ④受け入れ企業はインターン終了時に証明書を授与する。</p>			